

石川県成長戦略（仮称）素案

1. 策定にあたっての基本的な考え方
2. 戦略の体系
3. KPIの設定
4. 戦略と施策(個性豊かな地域づくり部会)

1. 策定にあたっての基本的な考え方

背景

石川県では、長期構想に基づき「個性・交流・安心のふるさとづくり」を着実に進め、個性、魅力、基盤を磨き上げてきたが、長期構想の策定以降、DXやGXといった社会に大きな影響を与える新たな時代の潮流が生まれている

<石川の強みである個性、魅力、基盤>

【産業】

規模は小さくとも特定分野で世界に誇る企業

【農林】

「百万石の極み」などの特色ある農林水産物

【文化】

歴史と伝統に育まれた質の高い文化資源

【観光】

文化・自然などの豊富で魅力ある観光資源

【交流基盤】

北陸新幹線や、小松・のと里山空港、南北に長い県土を結び、隣県とつながる道路ネットワーク

【教育】

全国トップクラスの教育水準、地域に根ざしたふるさと教育、高等教育機関の集積

【生活】

待機児童ゼロなどの働きながら子育てしやすい環境

【環境】

「能登の里山里海」、「霊峰白山」などの豊かな自然環境

<新たな時代の潮流>

DXの推進

新型コロナウイルス感染症を背景に、社会のデジタル化が急速に進み、これまでの働き方に変化を与えるとともに、人々の生活様式や価値観が多様化

GXの推進

- ・カーボンニュートラル実現に向けた取組の推進
- ・脱炭素化を経済成長の制約やコストとする時代から成長の機会と捉える時代に突入

方向性

石川の個性、魅力、基盤を継承し、さらに発展させるとともに、新たな時代の潮流に的確に対応し、**住みやすく、働きやすい、活力あふれる、幸福度日本一の石川県**を目指す

＜住みやすい石川県＞

- ・激甚化・頻発化する自然災害から**県民の生命・財産が守られ、安心して子育てができ、生きがいを感じながら、健康に長生きできる社会**
- ・石川の豊かな**自然と人との共生**が図られ、未来へとつながる**持続可能な社会**

防災 防犯 基盤整備
医療 健康・福祉
子育て 人権 環境

＜働きやすい石川県＞

- ・新型コロナウイルス感染症や、デジタル技術の進展などによりビジネス環境や県民の生活様式・価値観が変化する中、**所得だけでなく、多様な価値観が尊重される社会**
- ・女性や高齢者、障害者など、**誰もが働きやすい社会**

産業
農林水産業
女性活躍
インクルーシブ社会

＜活力あふれる石川県＞

- ・文化、観光資源など個性、魅力、基盤を継承しつつ、時代の潮流を捉えて**新たな価値の創造に挑戦**でき、それらを活かし、**国内外や地域間で活発な交流**が図られる社会
- ・DXやGXなど**新たな時代の潮流にも柔軟に対応できる人材が育成**され、積極的に挑戦できる社会

文化 スポーツ
観光 地域振興
人づくり

<視点>

石川県がさらなる飛躍を遂げ、幸福度日本一を実現するため、

- ・あらゆる分野において、時代の潮流を捉え、積極果敢に挑戦していくことで、個性・魅力・基盤をさらなる高みへと押し上げ、**石川の新たな価値を創り出していく**ことが重要(視点1)
- ・そのために、土台となる**県民の安全・安心が守られ、健やかに暮らせる社会をつくり上げていく**必要(視点2)

視点1

石川の新たな価値の創造

視点2

県民が健やかに安心して暮らせる社会の構築

<戦略>

上記の2つの視点に基づき、県政の諸課題に果敢に取り組むための6つの戦略と、新たな時代の潮流を的確に捉え、飛躍するための2つの横断的な戦略を設ける

戦略

- 1 **新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり** (産業づくり部会)
- 2 **収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり** (持続可能部会)
- 3 **個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり** (個性豊か部会)
- 4 **石川の未来を切り拓く人づくり** (温もり部会)
- 5 **温もりのある社会づくり** (温もり部会)
- 6 **安全・安心かつ持続可能な地域づくり** (安全・安心部会)
(持続可能部会)

横断的戦略

- 1 **デジタル化の推進**
- 2 **カーボンニュートラルの推進**

2. 戦略の体系

基本
目標

『**幸福度日本一に向けた石川の未来の創造**』
～住みやすく、働きやすい、活力あふれる石川の実現～

視 点

1 石川の新たな価値の創造

2 県民が健やかに安心して暮らせる社会の構築

戦 略

1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

4 石川の未来を切り拓く人づくり

2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

5 温もりのある社会づくり

3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

横断的
戦略

1 デジタル化の推進

2 カーボンニュートラルの推進

戦略を実行するための前提・仕組み

- ・KPIの設定（進捗管理、施策の評価）
- ・オール石川での推進体制（市町や民間など多様な主体との連携）
- ・効率的・効果的な行財政運営

計画期間

10年（R5～R14年度）

※策定から5年後を目途に中間
評価を行い、必要に応じて見直す

3. KPIの設定

- 「石川県成長戦略」に掲げる6つの戦略及び2つの横断的戦略の進捗状況を把握・管理するため、KPI（Key Performance Indicator：重要達成度指標）を設定
- KPIは、**各戦略に連なる34の施策ごとに、石川県の目指す姿（住みやすい、働きやすい、活力あふれる）の実現度合いを客観的に測ることのできるもの**
 - ※基本目標
「幸福度日本一に向けた石川の未来の創造 ～住みやすく、働きやすい、活力あふれる石川の実現～」
 - <住みやすい指標例> 合計特殊出生率、刑法犯認知件数 など
 - <働きやすい指標> 新規就農者数、一般事業主行動計画の策定率 など
 - <活力あふれる指標> 観光消費額、県内スポーツ施設の年間利用者数 など
- 原則として、**定量的な目標**とする（目標年度：R14）
- 設定したKPIを踏まえて、成長戦略に掲げる施策を着実に推進し、**KPIの目標達成を通じて、県民の幸福度の最大化を目指す**

4. 戦略と施策（個性豊かな地域づくり部会）

<各戦略に連なる施策>

□：個性豊かな地域づくり部会に関する施策

戦略1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

- (1) 産業のDX推進
- (2) 産業のGX推進
- (3) 産業を支える人材の確保・育成
- (4) 新事業・新産業の創出
- (5) 国内外への販路拡大・魅力発信
- (6) 中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化
- (7) 企業等の戦略的誘致の推進

戦略2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

- (1) 農業生産構造の強化
- (2) 農林水産物や里山里海資源のブランド化の推進
- (3) 持続可能な農業・畜産の体制づくり
- (4) 県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化
- (5) 持続性のある水産業の実現

戦略3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

- (1) 個性と厚みのある文化の創造と発展
- (2) スポーツを通じた活力の創造
- (3) 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化
- (4) 交流人口の拡大に資する陸・海・空の交流基盤のさらなる充実
- (5) 地域活力の向上に向けた移住・定住の促進
- (6) 個性豊かな地域づくり
- (7) 世界に開かれた国際交流の推進

戦略4 石川の未来を切り拓く人づくり

- (1) 次世代を担う人材の育成
- (2) 地域の知の拠点たる高等教育機関と連携した「学都石川」の発展
- (3) 人生100年時代を見据えた、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備

戦略5 温もりのある社会づくり

- (1) 安心して子どもを産み育てることができる環境の充実
- (2) 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり
- (3) 全ての県民への必要な医療の提供
- (4) 誰もが心豊かに安心して暮らせるインクルーシブな社会づくり (一部)
- (5) 男女が共に活躍できる社会の実現

戦略6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

- (1) 災害に負けない強靱な県土づくり
- (2) 安心して快適に暮らせる地域づくり
- (3) 持続可能な循環型社会づくり
- (4) 自然と人とが共生できる社会づくり

横断的戦略1 デジタル化の推進

- (1) 社会全体のDXの推進
- (2) DXに向けた環境整備

横断的戦略2 カーボンニュートラルの推進

- (1) 2050年までのカーボンニュートラルの実現

4. 戦略と施策（個性豊かな地域づくり部会）

戦略3. 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

骨子案（第2回石川県成長戦略会議(2/20)で了承）

施策1. 個性と厚みのある文化の創造と発展

「いしかわ百万石文化祭2023」を契機とした石川の優れた文化の継承と発展

○「いしかわ文化振興条例」による優れた文化の継承とさらなる発展



素案（今回提示）

施策1. 個性と厚みのある文化の創造と発展

（1）石川県の優れた文化の継承と発展

石川県の個性と厚みのある文化の継承と発展のため、いしかわ文化振興条例に基づき、石川県の文化の裾野の拡大やさらなる高みを目指した取組を進めます。

- 全国最大のいしかわ県民文化振興基金を活用した、文化団体の自主的・主体的な文化活動の支援
- 文学、音楽、美術、デザイン、写真、演劇、舞踊、メディア芸術などの振興
- 能楽、邦楽、日本舞踊などの伝統芸能の継承と発展
- 輪島塗、山中漆器、加賀友禅、九谷焼などの伝統工芸の継承と発展
- 歴史と伝統に裏付けられた食文化の継承と発展
- 茶道、華道、書道などの生活文化や芸能、国民的娯楽の振興
- 地域住民が主体となったふるさと文化の継承支援、掘り起こし
- オーケストラ・アンサンブル金沢による音楽文化の国内外への発信
- 伝統文化の継承者などの文化の担い手の育成
- 文化活動で顕著な成果を収めた者や文化の振興に貢献された者の顕彰

骨子案

「いしかわ百万石文化祭2023」を契機とした石川の優れた文化の継承と発展

○「いしかわ百万石文化祭2023」の開催

○ポスト国民文化祭に向けた取組 など



素案

(2) 「いしかわ百万石文化祭2023」の開催とポスト国民文化祭の取組の推進

①「いしかわ百万石文化祭2023」の開催

国内最大の文化の祭典である「いしかわ百万石文化祭」を県民総参加の文化の祭典、次世代への継承・発展、石川ならではの文化資源の活用、文化の力による観光の推進、文化と地場産業の連携、文化を通じた国際交流の推進の6つの基本方針のもと開催することにより、県民が石川県の文化の価値を再認識し、誇りと愛着を感じてもらうとともに、石川ならではの優れた文化を観光資源と位置付けて、国内や海外からの誘客を積極的に図ります。

②ポスト国民文化祭の取組の推進

国民文化祭を一過性のものとせず、開催の意義や成果を継承し、文化活動への県民総参加をさらに推進します。

◎ 国民文化祭のレガシーの継承・発展に向けた取組の推進 (R5新規)

骨子案

文化に親しむ環境づくり

- 県民が自主的に多様な文化に触れるなど、県民の文化意識の向上
- あらゆる方々が文化に親しむ機会の促進 など



素案

(3) 文化に親しむ環境づくり

① 県民の文化意識の向上と文化に親しむ機会の充実

文化への関心や理解を深めるなど県民の文化意識の向上を図るとともに、あらゆる方々が文化に親しむ機会の充実に取り組みます。

- 「いしかわ文化の日（10月第3日曜日）」と「いしかわ文化推進期間（いしかわ文化の日～文化の日）」における文化施設の利用や文化活動への参加の促進
- ◎ 茶道、華道などの伝統文化活動をより身近に感じることのできる場の創出に向けた取組（R5新規）
- 多くの人々が優れた文化を鑑賞できる機会の充実
- 文化活動への参加や活動成果を発表する機会の充実
- 「いしかわ・金沢風と緑の楽都音楽祭」のさらなる充実
- 障害者の文化活動を発表する場の提供や、県民が障害者芸術を鑑賞する機会の充実（R5拡充）

② 文化の担い手である子どもたちが石川県の文化に触れる機会の充実

石川県の文化の担い手である子どもたちが石川県の文化の奥深い魅力や神髄に触れる機会の充実を図ります。

- 学校等における古典芸能鑑賞教室、県民移動能の開催
- 美術館学芸員による学校出前講座の開催

骨子案

素案

③ 知の殿堂としての県立図書館の運営

文化立県・石川の「知の殿堂」である県立図書館が、県民の多様な活動の拠点となるよう、文化交流機能・公文書館機能・生涯学習機能の充実を図ります。

- ◎ 知的な活気にあふれ、何度でも足を運んでもらうためのイベントや企画展の開催（R5新規）
 - 貴重資料や歴史公文書のデジタルアーカイブ化の推進
 - 大学や民間団体と連携した、講習会等の開催による県民の課題解決支援

(4) 高等教育機関や他の自治体と連携した文化を通じた地域活性化

① 芸術大学等の高等教育機関と連携した文化芸術による地域活性化等の推進

芸術大学等の高等教育機関と連携することで、最先端の研究を活かした文化芸術による地域活性化等を推進します。

- ◎ 東京藝術大学との連携による障害者や子ども、高齢者などが芸術・文化に親しむ機会の充実（R5新規）
 - 金沢美術工芸大学との連携によるアートを通じた地域社会の活性化

骨子案

素案



②文化や観光を通じた広域的な地域活性化

相互に関連する地域資源を軸に自治体間の連携を図り、文化や観光を通じた広域的な地域活性化を図る取組を進めます。

- ◎ 富山県、静岡県と連携した日本三霊山（富士山・白山・立山）の魅力発信（R5新規）
- ◎ 群馬県と連携した温泉文化の魅力発信

骨子案

素案

(5) 「兼六園周辺文化の森」における連携強化と魅力の向上

①「兼六園周辺文化の森」の各施設の連携による文化発信拠点機能の強化

「兼六園周辺文化の森」の各施設等の緊密な連携により、文化発信拠点としての機能を強化し、石川県ならではの文化資源の魅力を発信します。

- ◎ V Rなどの最先端デジタル技術を活用した文化資源の新たな発信（R5新規）
- ◎ 兼六園周辺文化の森デジタルパスポート発行などによる文化施設間の回遊性向上（R5新規）
- ◎ 魅力的な施設を活用したミュージアムツーリズムの推進（R5新規）
 - エリア内の文化施設の入館料の相互割引の実施
- ◎ 石川四高記念文化交流館での明治・大正レトロ文化の魅力発信（R5新規）
 - 全国有数の文化ゾーンとして、多彩なイベントの展開によるエリア全体の賑わい創出
 - 人流やSNSなどのビッグデータなどを活用した戦略的な観光施策の立案・実施・効果検証【再掲】（戦略3施策3（7）①）

②「兼六園周辺文化の森」の整備と活用

都心に風格と賑わいをもたらす「兼六園周辺文化の森」の整備と活用に、金沢市とも連携し取り組みます。

- 金沢城公園の整備（金沢城二の丸御殿の復元整備、石垣の保全）
- 兼六園の保存・活用
- 「兼六園周辺文化の森」の歩行回遊性・快適性の向上
- ◎ 知事公舎の利活用

骨子案

文化遺産の保存・活用

○建造物・史跡・名勝など文化遺産の掘り起しや適切な保存・活用 など

素案

(6) 文化遺産の保存・活用

①文化財の適切な保存・活用

国指定・県指定文化財の適切な保存・活用を進めます。

- 文化財の適切な保存・修復への支援
- 文化財保存修復工房を中心とした保存・修復技術の継承や情報発信
- 文化財の国宝指定、世界遺産登録に向けた気運醸成
- 金沢城の総合研究と国内外への情報発信

②文化遺産の発掘や適切な保存・活用

建造物・史跡・名勝など文化遺産の発掘や適切な保存・活用を進めます。

- 文化遺産の適切な保存・修復への支援
- 文化遺産の掘り起し及び活用の推進
- ◎富山県、静岡県と連携した日本三霊山（富士山・白山・立山）の魅力発信（R5新規）【再掲】（戦略3施策1（4）②参照）
- ◎知事公舎の利活用【再掲】（戦略3施策1（5）②参照）
- ◎旧尾小屋鉱山周辺地域の再整備（R5新規）

戦略3. 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

< K P I >

指標名	基準値	➔	目標値 (R14)	指標の説明	出典
兼六園周辺文化の森文化施設来訪者数	2,340千人 (R4年度)	➔	3,540千人	文化にどれだけ触れている人がいるかを示す指標であり、文化観光等の推進により、50%増を目指す	石川県調べ
	<参考：主な施設> ・21世紀美術館 1,764千人 ・県立美術館 335千人 ・国立工芸館 69千人				
兼六園・金沢城公園の年間入園者数	511万人 (H27-R1年度の平均)	➔	590万人	兼六園・金沢城公園の年間の入園者数を示す指標であり、コロナ前の平均値に北陸新幹線金沢開業時並みの県内観光入込客数の伸び率（1.15倍）を乗算した590万人を目指す	石川県調べ
県立図書館の年間来館者数	78万人 (R4年度・7/16～3/31)	➔	120万人	県立図書館の年間の利用者数を示す指標であり、蔵書の充実や知識を深める魅力あるイベントの開催により全国トップクラスの利用者数を目指す	石川県調べ

骨子案

施策2. スポーツを通じた活力の創造

競技スポーツの振興

○ジュニア選手やより高いレベルの選手の育成と強化 など

素案

施策2. スポーツを通じた活力の創造

(1) 競技スポーツの振興

① 全国や世界の舞台で活躍できるアスリートの発掘・育成・強化

競技団体や関係機関と連携し、アスリートの発掘・育成・強化を進め、中長期の視点で、戦略的に、全国や世界の舞台で活躍できるアスリートの継続的な輩出を目指します。

- 各種競技団体や中学生・高校生の競技力向上に対する支援
- 国際大会等での活躍が期待される次世代アスリートの育成
- ジュニアアスリートの発掘及びワールドクラス・パスウェイ・ネットワークを活用した選手育成
- ◎ 日本体育大学との連携による高校生の競技力の向上や生徒の交流（R5新規）
- スポーツ指導者の養成と資質向上



骨子案

素案

②スポーツ医科学情報センターによるサポート

ジュニア選手やトップアスリートなどの育成・強化を図るため、コンディショニング指導やメディカル・メンタル・栄養・情報戦略などのサポートを行うスポーツ医科学情報センターを設置し、北信越地域の拠点となるよう取り組みます。

- ◎ 「いしかわスポーツ医科学情報センター」の設置（R5新規）
- ◎ デジタル技術を活用した選手と指導者・医科学情報センターの情報共有
- ◎ アスリートへの医科学サポート支援の充実（R5新規）
- ◎ 国のハイパフォーマンススポーツセンターや大学などとの連携による最先端指導（R5新規）
- ◎ コーディネーターによる県下全域でのサポート体制の構築（R5新規）
 - スポーツ指導者の養成と資質向上（R5新規）【再掲】（戦略3施策2（2）②参照）

③時代に即した選手育成

選手自らが考え、トレーニングを実践し、アントラージュ（関係者）がこれをサポートする「アスリート・センタード」の指導を推進するとともに、競技団体のガバナンス強化やアンチドーピングなどの取り組みにより、時代に即した選手の育成に取組を進めます。

- ◎ 日本体育大学との連携による選手の自主性を大切にする指導の推進（R5新規）
 - スポーツ指導者の養成と資質向上【再掲】（戦略3施策2（2）②参照）
 - ガバナンスやコンプライアンス、アンチドーピング、体罰禁止に関する研修会の開催

骨子案

オリンピック・パラリンピック大会レガシーの継承と発展

○オリンピック教室の開催などのオリンピック・ムーブメントの推進

○ホストタウン国との交流など大会レガシー活用の取組 など



素案

(2) オリンピック・パラリンピック大会レガシーの継承と発展

① オリンピック教室の開催などのオリンピック・ムーブメントの推進

東京オリンピック・パラリンピックによる県民のスポーツへの関心の高まりを、さらなる石川県スポーツ振興につなげていくため、日本オリンピック委員会（JOC）との間で締結する「パートナー都市協定」を基に、オリンピック・ムーブメントの推進に取り組みます。

- オリンピアン・パラリンピアンを講師としたスポーツ教室の開催
- ◎ 各種スポーツイベントへのオリンピアン・パラリンピアンへの参加（R5新規）
- 各種国際大会の誘致

② ホストタウン国との交流など大会レガシーの活用

県内で東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿を行ったホストタウン国との交流を継続するなど、大会レガシーの活用を進めることにより国際交流や海外誘客、地域振興につなげます。

- カヌー競技のアジア・パシフィック・スプリント大会の誘致
- ◎ 市町と連携したホストタウン国との交流の継続・発展（R5新規）

骨子案

生涯にわたるスポーツ活動の振興

○若年層から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進 など

素案

(3) スポーツのすそ野拡大・地域活性化

①若年者から高齢者までライフステージに応じたスポーツ活動の推進

心身の健康の増進、健康で活かに満ちた長寿社会の実現のため、若年者から高齢者まで、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します。

- 「いしかわ県民スポーツの日（4月第4日曜日）」におけるスポーツ施設の無料化やスポーツイベントの実施
- 県民の誰もが気軽にスポーツに親しむことのできるイベント等の開催（いしかわスポーツレクリエーション交流大会など）
- スマートフォンアプリ「いしかわスポーツマイレージ」を活用したスポーツを「する」「みる」「ささえる」の促進
- 総合型地域スポーツクラブの活動支援や地域のスポーツ指導を担う人材養成
- HPやアプリを活用した、イベントなどスポーツに関する情報提供の充実
- スポーツ施設（陸上競技場など）のリニューアル整備（R5拡充）
- ◎学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行など部活動改革の推進（R5新規）

戦略3. 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

骨子案

スポーツを通じた地域活性化

○アーバンスポーツの振興によるスポーツの裾野拡大

○県内トップスポーツチームなどとの連携など

素案

②アーバンスポーツの振興によるスポーツの裾野拡大

若者のスポーツ離れが懸念される中、東京オリンピックを機に、若者の関心や人気が高まっているアーバンスポーツを振興し、アーバンスポーツの聖地を目指します。

- ◎西部緑地公園内へのアーバンスポーツ施設の設置
- ◎アーバンスポーツの全国大会、世界大会の誘致
 - アーバンスポーツ体験機会の充実（R 5 拡充）
- ◎小中学生を対象としたアーバンスポーツ教室の開催（R 5 新規）
- ◎アーバンスポーツ団体の組織化への支援（R 5 新規）

③スポーツを通じた交流人口の拡大と地域振興

スポーツの力で、人や地域間の交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成することが重要であることから、スポーツを通じた交流人口の拡大と地域振興を推進します。

- ◎石川県ゆかりのアスリートによるスポーツの魅力発信（スポーツ大使）（R 5 新規）
- ◎eスポーツなどの新たなスポーツの普及・振興（R 5 新規）
 - スポーツ合宿の誘致

④県内トップスポーツチームなどとの連携

トップスポーツチームへの県民の応援気運をさらに高めるほか、スポーツを通じた健康づくり活動への参加により、地域の活性化を図ります。

- ◎石川ユナイテッドと連携した「県民スペシャル応援デー」の実施（R 5 新規）
 - 「いしかわスポーツキッズフェスタ」や学校でのスポーツ教室の開催
 - トップスポーツチームや大学生との連携による県民の健康づくりの

骨子案

○女性や障害者のスポーツ活動の振興

○パラアスリートの競技力向上 など

素案

(4) パラスポーツ（パラリンピック・デフリンピック・スペシャルオリンピックス）の振興

① パラスポーツを通じた共生社会の実現

障害者が、日頃からスポーツ活動に参加することは、健康増進や生きがいづくりの観点からも重要であるため、障害の有無に関わらずスポーツに親しむ機会の充実を図り、スポーツを通じた共生社会の実現を目指します。

- 石川県障害者スポーツ大会の開催
- パラスポーツ教室の開催
- ◎アスリートへの医科学サポート支援の充実（R 5 新規）【再掲】（戦略3 施策2（1）②参照）
- トップスポーツチームの公式戦と併せた啓発イベントによる魅力発信
- 総合型地域スポーツクラブへの指導員派遣

② パラスポーツの振興に向けたパラアスリートの競技力向上

東京パラリンピックにおける石川県ゆかりの選手の活躍を機に、県民の関心や認知度が高まっているパラスポーツのさらなる振興に向け、パラアスリートの競技力向上に取り組みます。

- 国際大会での活躍を目指すパラアスリートの強化
- 全国大会での活躍を目指すパラアスリートの育成
- ◎パラスポーツの全国大会の誘致

戦略3. 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

骨子案

西部緑地公園の再整備（県立野球場の建替）

○県立野球場の建て替えなどスポーツ施設の整備と充実

素案

(5) 西部緑地公園の再整備（県立野球場の建替）

石川県高校野球の聖地としても相応しい魅力を備えた、「子どもたちに夢と希望を与え、賑わいの拠点となる野球場」を目指し、県立野球場の建替え整備を進めます。



< K P I >

指標名	基準値	→	目標値 (R14)	指標の説明	出典
県内スポーツ施設の年間利用者数	581万人 (R3年度)	→	870万人	県民がどれくらいスポーツに親しんでいるかを示す指標であり、スポーツ施策の推進により、50%増を目指す	石川県調べ
	<参考：主な施設> ・県立野球場 5.3万人 ・西武緑地公園陸上競技場 11万人 ・いしかわ総合スポーツセンター 26.5万人 ・県立武道館 5万人				

骨子案

施策3. 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化

多彩な文化資源を最大限に活用した「文化観光」の推進

- 高付加価値な文化観光コンテンツの発掘・磨き上げ
- 「文化の担い手」と「観光事業者」の人材育成・連携推進
- 本県の有する質の高い文化資源の魅力発信 など



素案

施策3. 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化

(1) 多彩な文化資源を最大限に活用した「文化観光」の推進

①旅行商品の高付加価値化、滞在型観光の推進による地域のブランド力向上

「いしかわ文化観光推進ファンド」の活用などにより、旅行商品の高付加価値化や滞在型観光を推進し、地域全体のブランド力向上を図ります。

- ◎いしかわ文化観光推進ファンドを活用し、高付加価値な文化観光素材の発掘から磨き上げ、販売促進までの伴走型一貫支援の実施(R 5新規)
- ◎文化観光を推進する人材の育成・活用(R 5新規)
- ◎文化観光にかかる情報発信・誘客体制の強化(R 5新規)
 - 多様化する旅行ニーズに対応した観光の魅力の発掘・磨き上げ(R 5拡充)

②観光地の活性化の推進

地域一体となった魅力的な観光地づくりなど地域全体の活性化を推進します。

- 地域一体となった魅力的な観光地づくりの推進
- 外国人旅行者向けの県内周遊観光の推進

骨子案

ターゲットに応じた戦略的な誘客の推進

○旅行ニーズの多様化に対応した観光魅力の発信

素案

③満足度向上によるリピーターの確保

リピーター客は、家族、知人などへの口コミやSNSなどで観光地の魅力を宣伝するサポーターにもなることから、観光客の満足度向上によるリピーターの確保に取り組みます。

- 観光客の満足度向上による石川ファンの拡大
- 金沢駅観光案内所等の機能・サービスの充実

④「兼六園周辺文化の森」における連携強化と利便性の向上

【再掲】(戦略3施策1(5)参照)

(2) ターゲットに応じた戦略的な誘客の推進

①旅行ニーズや情報収集方法の多様化に対応した効果的な情報発信

データに基づく誘客ターゲットの設定や多様化する旅行ニーズに応じた効果的な情報発信に取り組みます。

- ワーケーション、サステナブルツーリズムなど旅行ニーズの多様化に対応したきめ細かな情報発信
- 誘客ターゲットを絞った情報発信
- 石川県にゆかりの深い人や石川ファンを通じた情報発信
- マスメディアを活用した情報発信
- 外国人旅行者のニーズや媒体に応じた観光の魅力発信

戦略3. 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

骨子案

○三大都市圏での誘客プロモーション

○アニメなどを活用した賑わいの創出 など

素案

②三大都市圏での誘客プロモーション

北陸新幹線県内全線開業を契機とし、三大都市圏におけるイベント等を通じた更なる誘客プロモーションに取り組みます。

- 首都圏等で開催される大規模イベント等を活用した情報発信
- 関西圏での情報発信拠点整備をはじめとする三大都市圏の観光案内所を活用した情報発信（R5 拡充）
- 「ひゃくまんさん」を活用したプロモーション

③アニメなどを活用した賑わいの創出

アニメなどのコンテンツを活用した賑わいの創出に取り組みます。

- ◎石川県ゆかりのアニメ関連企業等と連携したイベントの開催（R5 新規）
- ◎石川県が舞台となった映画のロケ地PRによる誘客促進（R5 新規）

④海外での誘客プロモーション

国内外のネットワークや交通インフラを最大限活用し、海外での誘客プロモーションに取り組みます。

- 北陸新幹線沿線自治体と連携した「新たなゴールデンルート」の定着推進に向けた魅力発信
- 小松空港国際定期便やのと里山空港へのチャーター便などを活用した誘客の推進
- 観光レップなどを活用したPR強化（R5 拡充）

骨子案

インバウンドにおける高付加価値旅行者の誘客強化

○観光消費拡大を図るための高付加価値旅行者誘致の強化 など

素案

⑤ M I C E の誘致

経済波及効果の大きいM I C E (Meeting、Incentive Travel、Convention、Exhibition/Event) や政府主催の国際会議の戦略的な誘致に取り組みます。

- 金沢コンベンションビューローと連携した誘致助成制度の充実
- 海外のM I C E の誘致活動の強化

⑥ 教育旅行の誘致

平日の宿泊需要の確保や将来のリピーターづくりに向け、教育旅行の誘致を推進します。

- 学校・旅行会社に対する誘致活動の実施

(3) インバウンドにおける高付加価値旅行者の誘客強化

観光庁のモデル観光地に北陸が選定されたことを受け、国と連携し、海外市場の特徴を捉えた情報発信や外国人のニーズを踏まえた観光コンテンツの充実など、戦略的な誘客の促進に取り組みます。

- ニーズに応じた観光素材の発掘・磨き上げ
- ユニークベニューなど特別感のある旅行商品の造成の推進
- 高付加価値旅行者層向け情報発信の強化
- 国内外のクルーズ船誘致による広域観光の促進

骨子案

新幹線北陸開業の効果を活かした誘客キャンペーンの実施

- 北陸三県連携による誘客の促進 など

基幹産業としての石川の観光を担う人材の育成

- 旅行ニーズの多様化など社会環境の変化に対応できる観光人材の育成 など

素案

(4) 北陸新幹線県内全線開業の効果を活かした誘客キャンペーンの実施

北陸新幹線県内全線開業効果を持続させるため、「新幹線県内全線開業PR戦略実行プラン」に基づき、誘客キャンペーンに取り組みます。

- 北陸3県等と連携したキャンペーンの実施
- JR等と連携したキャンペーンの実施
- 白山白川郷ホワイトロードの利活用の促進
- 隣県や北陸新幹線沿線県等との連携による広域観光の推進
- ◎白山総合車両所ビジターセンター（仮称）を活用した誘客促進

(5) 基幹産業としての石川の観光を担う人材の育成

基幹産業としての観光の担い手を確保するため、多様な分野からの人材の参入と育成を推進します。

- ◎文化観光を推進する人材の育成（R5新規）【再掲】（戦略3施策3（1）①参照）
- 観光創造塾における新たな観光魅力の発掘・磨き上げ、旅行商品化を担う人材育成
- デジタル技術を活用した経営効率化や観光ビジネスを創出する人材の育成
- 外国人旅行者受入に向けた人材育成

骨子案

観光資源を活かした県土の魅力向上

○サイクルツーリズムの推進など魅力ある石川の景観の保全・創出及び魅力発信など

素案

(6) 観光資源を活かした魅力ある受け地づくり

①「兼六園周辺文化の森」の整備と活用

【再掲】(戦略3施策1(5)参照)

② 魅力ある石川の景観の保全・創出と魅力発信

観光地等の無電柱化や千里浜再生プロジェクトの推進など、魅力ある石川の景観の保全・創出に取り組み、その魅力を積極的に発信します。

◎ サイクルツーリズムの推進に向けた整備 (ナショナルサイクルルート指定に向けたサイクリング環境の整備、北陸三県が連携した取組など) (R5新規)

- 千里浜再生プロジェクトの推進
- 歴史文化と自然景観を活かした公園整備 (能登歴史公園、木場潟公園など)
- 無電柱化など観光地や中心市街地等の個性を活かした街なみ整備
- 寄り道パーキング等の道路休憩施設の機能拡充

戦略3. 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

骨子案

データを活用した効果的な観光施策の推進

○ビッグデータなどを活用した戦略的な観光施策の立案・実施・効果検証 など

素案

(7) 観光地域マーケティングによる効果的な観光施策の推進

①ビッグデータなどを活用した戦略的な観光施策の立案・実施・効果検証

人流やSNSなどのビッグデータなどを活用した戦略的な観光施策の立案・実施・効果検証を行います。

◎観光マーケティングプラットフォームの構築、活用（R5新規）

②県全域のDMOである石川県観光連盟の機能強化

県全域のDMOとして石川県観光連盟の機能強化を図ります。

- 観光地域づくりを推進する司令塔としての体制強化



< K P I >

指標名	基準値	→	目標値 (R14)	指標の説明	出典
観光消費額 (億円)	3,174億円 (H27-R1年の平均)	→	4000億円	県内での観光消費額を示す指標であり、付加価値の高い旅行の推進等により、北陸新幹線金沢開業時を超える伸び率 (1.26倍) を目指す	石川県調べ
外国人観光消費額 (億円)	195億円 (R1年)	→	300億円	県内での外国人旅行者の消費額を示す指標であり、高付加価値旅行者の誘致等によりコロナ禍前以上の成長を目指す	訪日外国人消費動向調査 (観光庁)

骨子案

施策4. 交流人口の拡大に資する 陸・海・空の交流基盤の さらなる充実

北陸新幹線の早期全線整備

- 大阪までの早期全線整備に向けた働きかけの強化 など

幹線道路ネットワークの強化

- 細長い県土の更なる一体化・高速化の促進、北陸新幹線につながる
- 北陸三県や岐阜県を結ぶ県際道路の強化 など



素案

施策4. 交流人口の拡大に資する 陸・海・空の交流基盤の さらなる充実

(1) 北陸新幹線の早期全線整備

大阪までの早期全線整備実現のため、関西圏を含めた沿線地域との連携を密にし、国等への働きかけを強化します

(2) 幹線道路ネットワークの強化

県土を隈なく網羅する幹線道路網整備や隣県へのアクセス強化など、人やものの交流を一層盛んにするため、幹線道路ネットワークを整備します。

- 細長い県土の更なる一体化・高速化の促進
(能越自動車道、のと里山海道4車線化、金沢外環状道路、加賀海浜産業道路など)
- 北陸新幹線につながる北陸三県や岐阜県を結ぶ県際道路の整備
(国道8号、国道415号、金沢湯涌福光線、小松白川連絡道路など)
- 鉄道、港湾、空港と道路との連携強化による人・ものの円滑な移動の確保(金沢外環状道路、加賀海浜産業道路など)
- 能登・金沢・加賀各地域の魅力ある観光地相互の連携の強化による回遊性の向上(奥能登絶景海道、国道249号、加賀産業開発道路など)
- 緊急時の救急・支援活動を支える骨太で多重な幹線道路ネットワークの確保(奥能登横断道路、中能登横断道路、七尾外環状道路など)

骨子案

安心して快適に移動できる公共交通の実現

○交通DX・GXの推進

○持続可能な地域公共交通の維持・確保・充実 など

素案

(3) 安心して快適に移動できる公共交通の実現

①交通DX・GXの推進

キャッシュレス化や自動運転など、地域公共交通分野におけるDX・GXを促進するため、事業者や市町の取組を支援します。

- ◎ キャッシュレス化やMaaSなどの活用による公共交通機関の利便性向上、利用促進
- ◎ AIオンデマンド型交通や自動運転など新技術の活用促進
- ◎ 環境負荷の少ない車両（バス・タクシーなど）の導入促進

②持続可能な地域公共交通の維持・確保・充実

人口減少社会においても持続可能な地域公共交通の維持・確保・充実に図るため、事業者や市町の取組を支援します。

- ◎ 市町との連携による生活に不可欠な交通サービスの確保（コミュニティバス、デマンド型交通など）
- ◎ 企業や地域とのコラボレーションによる駅の賑わい創出
 - ノンステップバスの導入や駅・バス停などのバリアフリー化の促進
 - 石川県の東西を繋ぐ交流幹線軸となるIRいしかわ鉄道の経営イノベーションの推進（交通DXを活用した駅アクセスの向上、周遊観光促進など）（R5拡充）
 - のと鉄道の安定的な運行・経営の確保と、能登地域への更なる誘客の推進（観光列車「のと里山里海号」を軸とした団体誘客、アニメとのタイアップ等による個人誘客など）（R5拡充）
 - 鉄道や生活バス路線などの運行維持や設備投資への支援

骨子案

港湾機能の充実による交流促進

○金沢港・七尾港における取扱貨物や航路拡大、国際物流拠点化、賑わいの創出など

素案

(4) 港湾機能の充実による交流促進

①金沢港・七尾港における取扱貨物やクルーズ船の寄港拡大

港の立地の優位性や特性を活かして金沢港・七尾港における港湾の活性化を図るとともに、クルーズ船の誘致強化と受入体制の整備を進めます。

- 取扱貨物の種類・量の拡大に向けた戦略的なポートセールスの推進
- 金沢港の優位性を活かしたクルーズ船の誘致強化と受入体制の整備

②金沢港・七尾港における国際物流拠点化、賑わいの創出

人やものの交流における新たなニーズを踏まえて、港湾用地の適正配置を行うなど、金沢港・七尾港における国際物流拠点化及び賑わいの創出に取り組みます。

- ◎金沢港の将来ビジョンの策定（R5新規）、金沢港港湾計画の改訂
 - 船舶の大型化に対応した港湾機能の強化（R5拡充）
- ◎金沢港における新たなニーズを踏まえた港湾用地の適正配置と更なる利活用
- ◎カーボンニュートラルポートの形成を推進（R5新規）

骨子案

小松空港の日本海セントラルゲートウェイ化

○世界と日本各地をつなぐ日本海セントラルゲートウェイとして小松空港の機能拡充など

のと里山空港の交流拠点としてのさらなる活性化

○人とももの交流拠点としての、のと里山空港のさらなる活性化 など

素案

(5) 小松空港の日本海セントラルゲートウェイ化

東アジア、東南アジアからの新規路線の開設など世界と日本各地をつなぐ日本海セントラルゲートウェイとして小松空港の第二滑走路の整備の検討など機能拡充に取り組みます。

- ◎ 東アジア、東南アジアからの新規路線の開設に向けた取組の推進 (R 5 新規)
 - 乗継利用など航空の優位性を活かした航空需要の創出 (R 5 拡充)
 - 空港内エプロンの増設を契機とした国際航空貨物取扱量の拡大 (R 5 拡充)
 - 国際旅客便を活用した石川県の新鮮な食材の海外への輸出 (R 5 拡充)
- ◎ ターミナルビルの改築も見据えた地域の賑わい拠点化

(6) のと里山空港の交流拠点としてのさらなる活性化

大都市と能登をつなぐ人とももの交流拠点として、首都圏・地元双方の利用促進など、のと里山空港のさらなる活性化に取り組みます。

- 首都圏・地元双方の利用促進による羽田便の複数便維持
- ◎ 能登の新鮮な海産物を就航地へ直送
 - 海外からのインバウンドチャーター便の誘致
- ◎ 海外からのプライベートジェットの誘致
- ◎ 空港の脱炭素化の推進 (R 5 新規)

戦略3. 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

< K P I >

指標名	基準値	→	目標値 (R14)	指標の説明	出典
県内の移動 1 時間圏・ 1 時間半圏	1 時間圏 : 65% 1 時間半圏 : 77% (R4年度)	→	1 時間圏 : 75% 1 時間半圏 : 87%	金沢市から各市町への時間距離の短縮度合を示す指標であり、幹線道路ネットワークの整備により10%増を目指す	石川県調べ
地域鉄道・乗合バスの輸 送人員	44,800千人 (R1年度)	→	50,000千人	地域公共交通の利用状況を示す指標であり、人口が減少する一方、利用促進・利便性向上により需要を創出し、コロナ前のR1年度水準回復を目指す	国土交通省 北陸信越運 輸局調べ
金沢港外貿コンテナ貨物 量	62,768TEU (R4年度)	→	80,000TEU	金沢港の利用状況を示す指標であり、県内企業等の利用拡大により過去のピークの71,716TEUを超える80,000TEUを目指す	石川県調べ
金沢港クルーズ船寄港数	6本 (R4年度)	→	60本	金沢港の利用状況を示す指標であり、今後の世界のクルーズ市場の成長と誘致等により、過去のピークの55本を超える60本の寄港定着を目指す	石川県調べ
県内空港利用者数	1,097千人 (R4 (R5.2まで))	→	2,050千人	県内空港の利用状況を示す指標であり、小松空港は需要予測、のと里山空港は搭乗率62%を踏まえた増加を目指す	石川県調べ

骨子案

施策5. 地域活力の向上に向けた
移住・定住の促進

一人ひとりのニーズに寄り添ったきめ
細かな支援による石川への移住・定
住の促進

○様々な切り口・手法による本県での暮らしの魅力発信



素案

施策5. 地域活力の向上に向けた
移住・定住の促進

(1) 一人ひとりのニーズに寄り添ったきめ細かな支援による
石川への移住・定住の促進

① 様々な切り口・手法による石川での暮らしの魅力発信

移住希望者の関心に合わせて、セミナーや相談会の開催、SNSによる情報発信など様々な手法を活用し、石川県での暮らしの魅力や子育てしやすい環境を広く発信することにより、石川県への移住につなげます。

- 市町と連携した首都圏等での移住セミナー、大規模移住相談会の開催
- 他県と連携した移住イベントの開催
- 移住ポータルサイト、移住専門誌、SNS等による情報発信
- ◎子育て情報誌やウェブメディアと連携した子育て世帯向けのPR強化（R5新規）

②石川県での暮らしの魅力が実感できる機会の提供

将来的な移住を見据え、移住先を検討している層に対して、ニーズに合った石川県での暮らしの魅力が実感できる機会を提供します。

- 現地訪問やオンラインの活用による移住体験機会の提供
- ◎移住希望者と地域との交流プログラムの実施（R5新規）

骨子案

○移住希望者の受け入れ体制の整備 など

多様な暮らし方・働き方への志向の高まりを捉えた新たな人の流れの創出

○テレワーク移住の推進といった場所に捉われない働き方・暮らし方の実現など新たなニーズへの対応 など

素案

③移住希望者の受け入れ体制の整備

移住を決め、移住に向けて準備をしている層に対して、移住の際の経済的負担を軽減する支援制度などにより、石川県への移住を後押しします。

- ILAC（いしかわ就職・定住総合サポートセンター）によるマッチング支援強化
- いしかわ移住パスポートや移住支援金などによる移住者の経済的負担の軽減（R5拡充）
- 移住者の起業支援（起業支援金、セミナーの開催など）

(2) 多様な暮らし方・働き方への志向の高まりを捉えた新たな人の流れの創出

テレワークといった場所に捉われない働き方・暮らし方の実現など、新たなニーズを踏まえた取組を展開します。

- お試しテレワーク移住への助成
- 地域との交流に興味のある県外の学生・社会人等（関係人口）と地域住民との交流機会の提供
- ◎クリエイティブ人材などコンテンツ産業の集積に向けた人材・企業の誘致（R5新規）

戦略3. 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

< K P I >

指標名	基準値	→	目標値 (R14)	指標の説明	出典
県と市町の施策を活用した移住者数	1,478人 (R4年度)	→	2,000人	移住施策の効果を示す指標であり、移住希望者へのきめ細かな支援により、コロナ禍以降の移住者数の伸び（前年度比50人増）を維持した上で年間2,000人を目指す	石川県調べ
人口の転入出数	▲2,163人 (R4年度)	→	社会減解消	人口の社会増減を示す指標であり、R9年度に人口の流出を止めることを目指す	住民基本台帳人口移動報告（総務省）

骨子案

施策6. 個性豊かな地域づくり

金沢城公園の整備

- 二の丸御殿の復元（R6年度工事着手）など金沢城公園の整備

西部緑地公園の再整備

- 産業展示館や県立野球場の建替えと併せた西部緑地公園の再整備



素案

施策6. 個性豊かな地域づくり

（1）金沢城公園の整備

①金沢城二の丸御殿の復元整備、石垣の保全

全国を代表する近世城郭の一つである金沢城の価値や魅力を高めるとともに、石川の匠の技や、全国に誇る伝統工芸を次世代へ継承していくため、二の丸御殿の復元整備や石垣の保全に取り組みます。

◎②御殿復元や復元建造物の認証に向けた気運の醸成（R5新規）

デジタル技術（VR・ARなど）を活用した情報発信を行い、御殿復元や復元建造物の認証に向けた気運の醸成を図ります。

（2）西部緑地公園の再整備

◎①県立野球場及び産業展示館の建替えに併せた園全体の再整備

緑豊かな心地よい空間と多彩なスポーツ・イベントが楽しめる夢の空間を創出し、更なる賑わい創出を図ります。

骨子案

森林公園の魅力向上

○石川県森林公園におけるリニューアル・魅力発信 など

多様な人々が交流し、役割を持ち活躍できる地域づくり

○地域づくり活動のリーダーとなる人材の育成

○外部人材の受け入れ促進と地域住民と協働した地域づくり など

素案

(3) 森林公園の魅力向上

①石川県森林公園におけるリニューアル・魅力発信

開園 50 周年を契機として、森林公園の豊かな自然を活かした年間を通じた魅力アップと利便性向上に取り組むとともに、生物多様性や「L G B T Q」など人の多様性を尊重する社会の重要性を発信する場として活用します。

(4) 多様な人々が交流し、役割を持ち活躍できる地域づくり

①地域づくり活動のリーダーとなる人材の育成

地域づくりの担い手の確保のため、地域づくり活動のリーダーとなる人材を育成します。

- 地域づくりに取り組む人材の実力を高めるための研修機会の提供

②外部人材との協働による地域づくり

地域での様々な課題の解決に向け、外部人材の受け入れを促進し、地域住民と協働した地域づくりに取り組みます。

- 地域おこし協力隊の活動促進に向けた支援
- 地域との交流に興味のある県外の学生・社会人等（関係人口）と地域住民との交流機会の提供【再掲】（戦略3施策5（2）①参照）

◎全市町におけるサテライトキャンパス構想の推進

骨子案

地域が有する多彩な地域資源の活用による魅力の創出・継承

○地域の個性を活かした地域活性化と魅力の創出・継承 など

地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまちづくり

○持続可能でにぎわいのある集約型まちづくりの推進
○緑と水の空間の創造と利活用の充実 など



素案

(5) 地域が有する多彩な地域資源の活用による魅力の創出・継承

地域が主体となり、今ある地域独自の資源を活用し、磨きをかけるとともに、将来に継承していくための取組を推進します。

- 地域の特産品や自然など、その地域特有の資源を活用した地域の魅力向上

(6) 地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまちづくり

持続可能でにぎわいのある集約型まちづくりや、安心して快適に移動できるみちづくり、緑と水の空間の創造と利活用の充実など、地域の魅力を活かしながら、にぎわいのあるまちづくりを推進します。

- まちづくり協議会等との協働による沿道の街並みと一体となった街路整備
- 無電柱化を核とした観光地や中心市街地等の個性を活かした街なみ整備【再掲】(戦略3施策3(6)②)
- 地域の実情に即した集約型のまちづくり支援
- 市町の空き家対策の支援
- 市街地の円滑な自動車交通を確保する道路整備(環状・放射道路、交差点の渋滞対策など)
- 時代の変化に応じた道路空間のリニューアル(道路空間の再配分による歩行者、自転車、シニアカー、電動キックボードなどの安全性の確保)(R5拡充)
- ◎公園のリニューアルや管理運営への民間活力の導入
 - 官民連携による緑の空間づくり
 - 河川の良好な環境を活かした、かわまちづくりの推進

戦略3. 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

< K P I >

指標名	基準値	→	目標値 (R14)	指標の説明	出典
兼六園・金沢城公園の年間入園者数	511万人 (H27-R1年度の平均)	→	590万人	兼六園・金沢城公園の年間の入園者数を示す指標であり、コロナ前の平均値に北陸新幹線金沢開業時並みの県内観光入込客数の伸び率(1.15倍)を乗算した590万人を目指す。	石川県調べ
西部緑地公園の年間利用者数	190万人 (H29-R1年度の平均)	→	240万人以上	西部緑地公園の年間の利用者数を示す指標であり、公園等の再整備により、約3割増の240万人以上を目指す ※供用時期、各施設の規模・仕様未定	石川県調べ
森林公園の年間入園者数	180,000人 (H29-R1年度の平均)	→	280,000人	森林公園の年間の入園者数を示す指標であり、リニューアル等により10万人増を目指す	石川県調べ
地域おこし協力隊の受入隊員数	177人 (R4年度までの累計)	→	380人 (累計)	地域づくり活動に従事する新規受入隊員数を示す指標であり、隊員や受入自治体双方に対するサポートの充実等により、毎年20名程度(R3実績)の受け入れを目指す	地域おこし協力隊調査(総務省)
専門家の活用等により地域づくりに取り組む団体数	175団体 (R4年度までの累計)	→	260団体 (累計)	コーディネーター派遣を活用した地域づくり団体数を示す指標であり、地域づくり団体への支援を継続的に行うことにより、直近(R1~R4年度の増加平均値)の実績を維持した上で年間8団体の増加を目指す	石川県調べ

骨子案

施策7. 世界に開かれた国際交流の推進

世界の各地域との多様な国際交流・国際協力の推進

○友好交流地域など世界各地とのネットワークや石川の特徴を活かした多様な交流 など

民間国際交流団体の充実と国際社会に通用する人材育成

○民間国際交流団体の活動内容の充実と行政との連携・協働体制づくり

素案

施策7. 世界に開かれた国際交流の推進

(1) 世界の各地域との多様な国際交流・国際協力の推進

国境を越えた交流の拡大に向け、友好交流地域など世界各地とのネットワークや石川の特徴を活かした多様な交流を推進します。

- 友好交流地域をはじめとする世界の各地域との積極的な交流
- 石川県の豊かな文化、歴史、自然を活用した国際交流の推進

(2) 民間国際交流団体の充実と国際社会に通用する人材育成

①民間国際交流団体の活動内容の充実と行政との連携・協働体制づくり

石川県の草の根国際交流を支え、国際化推進の大きな原動力となっている民間国際交流団体の活動内容の充実と行政との連携・協働体制づくりを推進します。

- 民間国際交流団体における多様な活動の支援
- 石川県国際交流協会を核とした連携体制の構築

戦略3. 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

骨子案

○国際社会に通用する人材の育成と県民の国際理解の促進 など

文化安全保障の理念に基づく取組の推進

- 国際規模のイベントなどの機会を捉えた文化を通じた国際交流
- 地域に根付いた文化の保存・継承・発展など文化安全保障の取組 など



素案

②国際社会に通用する人材の育成と県民の国際理解の促進

加速するグローバル化に的確に対応するため、国際社会に通用する人材の育成と県民の国際理解を促進します。

- 21世紀石川少年の翼事業による次代を担う青少年の育成
- 国際交流員や外国語指導助手による国際理解の促進

(3) 文化安全保障の理念に基づく取組の推進

世界情勢が不安定な中、国際的な文化交流による平和の実現に向け、大阪・関西万博など国際規模のイベントなどの機会を捉え、文化を通じた国際交流を推進します。

文化を通じた国際交流の前提として、地域の身近な文化を大切にする土壌を育むため、日本各地固有の伝統芸能や祭りなど、地域に根付いた文化の保存・継承・発展に取り組みます。

< K P I >

指標名	基準値	➔	目標値 (R14)	指標の説明	出典
国際交流に係るボランティア数	626人 (R4年度)	➔	1,000人	県民の国際交流への関心の高さを示す指標であり、過去10年間の外国人住民数伸び率(1.59倍)と同程度の増加を目指す	石川県調べ

骨子案

施策4. 誰もが心豊かに安心して暮らせるインクルーシブな社会づくり

外国人と日本人がともに生き生きと安心して暮らせる社会づくりの推進

○地域における日本語教育体制の整備

○多文化共生の理解促進と外国人住民の社会参画支援 など



素案

施策4. 誰もが心豊かに安心して暮らせるインクルーシブな社会づくり

(3) 外国人と日本人がともに生き生きと安心して暮らせる社会づくりの推進

①地域における日本語教育体制の整備

外国人住民が地域での生活に馴染み、安心して暮らすことができるよう、地域における日本語教育体制の整備を促進します。

- 市町等における日本語教室や生活相談の実施
- ◎石川県国際交流協会によるオンライン日本語教室の実施（R5新規）

②多文化共生の理解促進と外国人住民の社会参画支援

外国人住民と日本人住民が言葉や文化、習慣の壁を越え、相互理解を深め共生する社会を目指し、外国人住民の地域コミュニティ等への参画を促進します。

- 多文化共生に向けた市町等における地域住民との交流イベントの実施
- 地域や行政との橋渡し役を担う外国人リーダーの育成